

夢 塾 だ よ り

～ 身近な数学・「大安」の決め方 ～

(第 61 号) 令和 4 年 8 月 24 日

小学校の先生が「1 から 100 までの整数を全部足してください」と問題を出しました。どんなに早い子でも 10 分はかかるだろうと先生は予想しました。しかし一瞬で答えた子がいました。その子の考えは $1+2+3+4+5+\dots+97+98+99+100$ を $1+100$ $2+99$ $3+98$ $4+97$ $5+96$ と 外側どうしの 2 数を順に足し 101 が 50 個できるので $101 \times 50 = 5050$ と答えたといひます。

その子とは後の天才数学者ガウスです。(等差数列の和は高 2 の数学 B で学習) まさに「梅檀は双葉より芳し」です。ただ私はこの「ことわざ」をずいぶん長い間誤解していました。梅檀という木は双葉という植物よりもいい香りがすると。正解は梅檀という木は生まれたての双葉のころからすでにいい香りがする。つまり、大人物は少年時代からなみはずれているということです。双葉よりの「～より」を対比の「～よりも」と思ったのでした。

長い間の勘違いはそれを知った瞬間に恥ずかしくなりますね。「情けは人のためならず」これも多くの人勘違いしているのではないのでしょうか。「情けをかけるのはその人のためにはならないからかけるべきではない」と思われていませんか？これも、情けをかけると巡り巡って自分にも良い報いがあるから人には情けをかけなさい」という意味なんですね。

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

「勘違い」と同様「無知」であることも我々の生活に不安を与えます。「大安」「友引」「仏滅」などの決まりを知ると「なあんだ」となります。カレンダーを眺めると「大安」「赤口」「先勝」「友引」「先負」「仏滅」と規則正しく並んでいない箇所があります。理由はそこで旧暦の月が変わるからです。では決まりを言

いましょう。旧暦の月と日を加えた数を 6 で割ると、割り切れる。1 余る。2 余る。3 余る。4 余る。5 余る。順に「大安」「赤口」「先勝」「友引」「先負」「仏滅」とあてたのです。例えば旧暦の 4 月 10 日なら $4+10=14$ $14 \div 6 = 2$ あまり 2 なので「先勝」です。私の誕生日は毎年、先勝です。(笑い)

知らないより知ったほうが余計な心配はせずに済むこともあります。ただこれも考え方は様々で解釈は自由です。数学は規則性の中にも考える自由があり、自由な空間の中にも美しい規則性がある素敵な学問です。